

中国シルバー・健康産業視察団の派遣について

【お問合せ】大阪商工会議所国際部 藤田・孫
TEL 06-6944-6400

大阪商工会議所は、12月11～14日に、中国のシルバー・健康産業の視察を目的に、北京・上海へ視察団を派遣する。本視察団の団長は深野弘行中国ビジネス委員会委員長(伊藤忠商事株式会社常務理事)。現在、参加者を募集中。

高齢化が進む中国では2030年までにシルバー産業市場が約360兆円に拡大すると言われ、今後のビジネスチャンスが期待される。本視察団では関連市場の最新動向の把握のほか、ビジネスにつながる企業・業界団体関係者との交流、地元系・進出日系企業の視察等を行う。

1. 事業概要

- 大阪商工会議所では中国のシルバービジネスの市場拡大を見込み、2013年に「日本—アジアシルバー産業連携推進プラットフォーム（以下プラットフォーム）」を立ち上げ、交流会などを通じたビジネス機会創出に努めるとともに、変化の速い中国の動向を把握すべく現地視察等を積極的に行ってきた。
- 従来日本のシルバー産業は優位性があるとされつつも、実際に中国に展開した日系企業は、所得水準や社会保険制度の整備状況、介護に対する認識の違いなどから日本的なサービスの強みを生かせず苦戦しているケースも多く、特に最近では現地企業の提供するサービス・製品の水準が向上し、日本企業が優位性を発揮できる余地が少なくなりつつあると指摘されている。一方で、消費力の高まり等を背景に、これまで中国では不評とされていた日本的な入浴サービスが受け入れられつつあるほか、新しい健康管理デバイスやIoTが活用され始めるなど、中国の高齢者向け市場は大きく変化している。
- こうした状況の下、中国におけるビジネス環境の変化を体感し、プラットフォーム登録企業の今後の事業戦略策定の一助とすべく中国視察団を派遣する。現地では、中国高齢者市場における日系・地元系を含めた最新動向の把握や、今後のビジネス展開に繋がる企業、業界団体関係者との交流を予定している。

【参考】中国のシルバー産業市場について

中国では60歳以上人口が2020年までに約2.6億人と人口の17.8%を占めるようになり、2030年までには現在の米国の人口を上回る約3.5億人に達すると予測されている。高齢化は中国の経済成長や財政にとって重荷になる一方、シルバービジネスという新市場が拡大する側面もあり、高齢者向け産業の市場規模は2030年に22兆元（約360兆円）に拡大するとの予測もある。（2025年の日本の介護関連市場は18.7兆円との予測）。

2. 視察団概要

- 時 期 2018 年 12 月 11 日(火)～12 月 14 日(金)
- 主 催 大阪商工会議所（中国ビジネス委員会）
- 団長・対象者 団 長）深野弘行・大阪商工会議所中国ビジネス委員長
（定員 15 名） 対象者）中国シルバー・健康ビジネスに関心のある企業関係者
- 主な訪問先・予定 （北京） ・地元企業運営老人介護施設
・地元関連業界団体（ブリーフィング及び交流会）
（上海） ・地元認知症介護施設
・日系福祉関連サービス企業
・地元健康管理デバイス開発企業
- 参加費 22 万円(エコノミークラス利用、1 名当たり)

※詳細は「中国シルバー・健康産業視察団」参加者募集(現地部分参加可) 参照
<http://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/201810/D11181211017.html>